

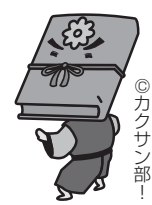
7年8カ月
安倍政権

暴走そして行き詰まり

安倍政権の7年8カ月は民主主義も暮らしも外交も破壊してきました。

立憲主義破壊 数の暴力

●安倍政権の暴政の象徴 「閣議決定」で憲法9条の解釈を百八十度ねじ曲げ、歴代自民党政府が禁じてきた集団的自衛権の行使を容認。その後、海外で米国とともに肩を並べて武力行使する、憲法違反の安保法制=戦争法の強行へ突き進みました。



©カクサン部！



「桜を見る会」で参加者を前にあいさつする安倍首相。2017年4月15日、首相官邸公式ウェブサイトで

国の最高法規・憲法の解釈を乱暴に変更するやり方は、異論に耳を貸さず、数の多数で押し通す国政運営の常態化を招き、「森友」「加計」「桜を見る会」など国政私物化が引き起こされました。

コロナ 混迷と無策

●後手・場当たり・的外れ 「新型コロナ」対策は迷走続き。4百数十億円もの税金が投入された「アベノマスク」配布には批判が噴出。休業要請を出しながら「自粛と補償は一体で」の要求には背を向け、対策を決めても規模が小さく、支援が遅い。



安倍政権のコロナ対応の一番の問題は、新しい感染症をどう抑え込むかの基本戦略がないこと。諸外国のように”検査によって封じ込める”戦略に立ち、PCR検査を大規模に拡充することが必要です。

2度も消費税増税

●アベノミクスは大失敗 経済政策「アベノミクス」による異常な金融緩和などで大企業や富裕層をもうけさせる一方、消費税は5%→8%（14年4月）→10%（19年10月）と2度も引き上げ。計13兆円の大増税。経済の6割を占める家計を直撃しました。そこにコロナ禍が加わり、4～6月のGDP（国内総生産）は戦後最悪のマイナス27.8%（年率換算）。一方、史上最高の利益を上げてきた大企業には4兆円もの減税。貧困と格差が拡大しました。



©カクサン部！

3つの転換へ



野党の共闘で新しい政治を

日本共産党は「安倍政治」を3つの方向で転換することをめざします。

- ①憲法に基づき、立憲主義、民主主義、平和主義を回復する
- ②格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治にきりかえる
- ③多様性を大切にし、個人の尊厳を尊重する政治を築く



国会を取り囲み戦争法廃案を求める人たち。2015年8月

安倍首相は辞任表明しても、「安倍政治」が終わった訳ではありません。「安倍政治」は、「戦争する国」への暴走、戦後最悪の大増税、米国追随・覇権主義にモノが言えない屈従外交、ウソと偽りのモラル破壊の政治など多くの「負の遺産」を残しました。

きたる総選挙は、「負の遺産」を一掃し、野党連合政権で新しい政治に道を開く選挙です。力をあわせ「安倍政治ノー」の決着をつけましょう。